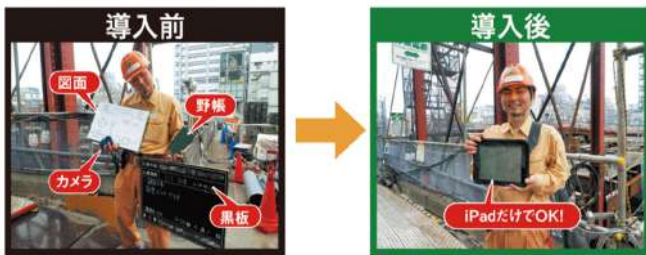


建設現場のワークスタイルを飛躍的に改革！ 業務効率化で時短に貢献・現場の働き方改革を支援

これまでIT化が難しかった建設現場向けに、株式会社大林組との共同開発により生まれたデジタル野帳アプリeYACHO。働き方改革が叫ばれる今、eYACHOの導入企業が急速に広がっている。建設現場で使われる紙の作業記録ノート「野帳」をタブレット端末に置き換えることで、現場業務の生産性が大幅に向上し、残業時間の短縮につながっている。今後ますます業務効率化が求められる建設現場を支援するeYACHOの特長や機能と実際に導入いただいているお客様の活用方法や導入効果を紹介する。

もう紙の野帳には戻れない！ iPad 導入後、現場で持ち歩く機材が激減

eYACHOを共同開発した株式会社大林組では、iPadが全社導入されている。iPad導入前は紙の野帳のほかデジタルカメラや説明用黒板、製本した図面と、現場で持ち歩く機材やものがとても多く大変だったが、eYACHO導入後は、iPadを1台持つだけで済むようになった。



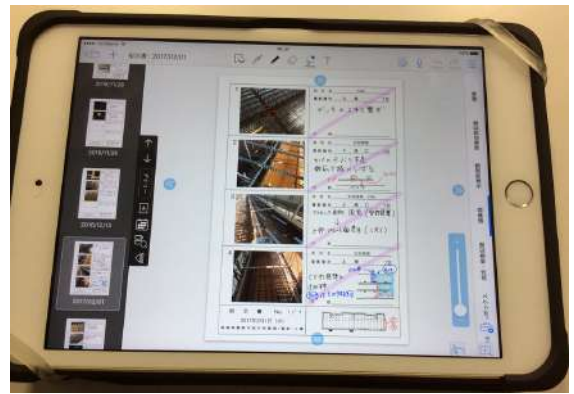
株式会社大林組様の導入前と導入後のワークスタイルの変化

青木あすなる建設株式会社では、図面のほかに工程表をeYACHOに取り込んで業務効率化を実現。これまでは、現場で職人さんから質問されると事務所に戻って確認していたが、eYACHO導入後は、現場ですぐに回答できるうえ、担当者の変更や工程の追加があった場合も、現場でメモして印刷・配布までできるようになった。

是正指示も現場で完了、現場で発生する様々な情報を柔軟に記録

eYACHOは、作業員の出勤状況を記録する出面表や現場巡視記録などの定型書式を取り込んで記入できるほか、手書きのメモやイラストなども紙の野帳と同じように書き込める。現場で撮った写真をeYACHOに取り込んで直接指示を書き込めるので、これまで半日から1日必要だった協力会社への是正指示も現場で完了し、事務所に帰ってからのデスクワークを大幅に削減できる。

また、録音機能により、施主との打ち合わせも確実に記録できるので、安心して話に集中できる。さらに、メモや写真と音声が入り混じりしており、編集した時点の音声から頭出し再生ができるので、あとから情報を取り出すことも簡単だ。手書きメモと録音で議事録作成も効率化できる。



青木あすなる建設株式会社に作成された指示書の例
現場で写真を撮って、手書きで是正指示を記入

現場で検査報告書が完成、多彩なフォーム部品で帳票作成も簡単に

eYACHOは、多彩なフォーム部品を搭載しており、配置するだけで現場で簡単に帳票を作成できるほか、現場ごとに異なる帳票や項目変更にもその場で対応可能だ。

株式会社大林組JVの事例では、杭の立ち会い検査報告書を作成する際に、フォーム機能を活用し、大幅な時短を実現した。紙の帳票を使っていたときは、事務所に帰ってから報告書にまとめるために、30分から1時間ほどの作業が必要だったが、eYACHO導入後は、立ち会い検査時の合間を有効活用し、現場で帳票にデータを入力するだけで報告書を作成できるようになった。事務所に帰ってからはプリントアウトだけで済むようになり、業務時間の短縮につながったという。



株式会社大林組JVで作成された検査報告書のフォーム
杭の番号はプルダウンメニュー化し、選択するだけで入力可能

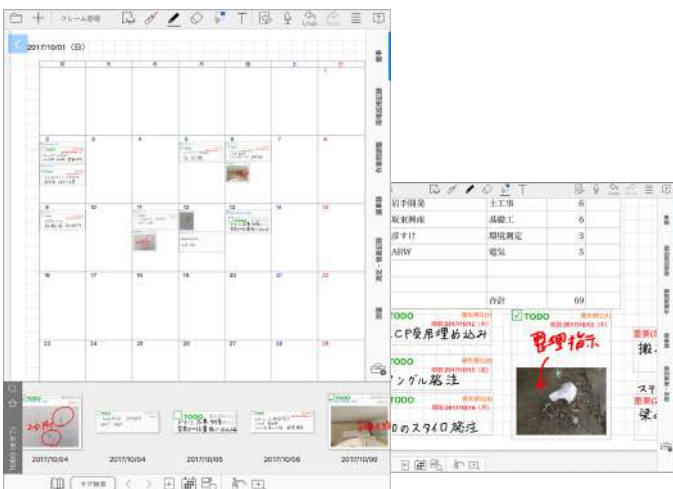
これまで使っていた紙の帳票をPDF化してeYACHOに取り込み、数値や文字などの記入欄の部分にテキスト枠やチェックボックスなどを配置するだけで、見た目は従来の紙の帳票そのままに作成できる。iPadに慣れていない人でも直感的にすぐに使えるという利便性も大きなメリットだ。

紙のノートにはない画期的な TODO 機能で情報を一元管理

建設業にとって、日付は手がかりとなる重要な情報である。eYACHOは、カレンダー機能や打ち合わせメモや写真などを記録したとき、その日付や時刻を自動的に入力する機能を搭載している。情報をページだけでなく、日時で管理できるので、検索も容易である。あるマンション建築の部門では、この機能を応用してクレーム管理に役立てている。

まず、月初めに1ヶ月分のカレンダーを作成し、お客様からのクレーム内容を手書きや写真、イラストなどで毎日ノートに記載していく。個々の内容にTODOタグを貼り付け、対応すべき期間を設定すると、カレンダー上に当日期限のTODOが表示される。TODOをタップすると記載した場所にジャンプするので、すぐに詳細な内容を確認したり、メモを追記することも可能だ。

また、未完了のTODOを検索してリストアップすることで、やり忘れも防止できる。これは紙の野帳にはない画期的な機能であり、現場の生産性向上につながっている。



写真や手書きメモにTODOを設定。カレンダーと組み合わせたり、未完了のTODOだけをリストアップすることが可能

測量計算テンプレート搭載、土木電卓が不要に

国土交通省が推進する「i-Construction」により、土木現場のICT化が進み、3次元データの活用や、測量、施工の自動化が進んでいる。一方、土木工事の実際の現場では、丁張り作業等において障害物等現場の状態により、当初の計画通りにいかず、その場で紙の野帳と電卓による測量計算が行われる場合も多く、作業効率に影響している。

そこで、eYACHOは現場監督が基本的な測量計算を簡単に行うための各種測量計算テンプレートを多数搭載した。測量結果の数値を入力するだけで、トラバース測量や水準測量の自動計算が行えるようになり、計算ミスを防止し、業務効率化を支援する。



トラバース/逆トラバース放射計算、器高式水準測量、後方交会法、座標/方向角計算などのテンプレートを搭載

シェア機能で、資材搬入や車両配置の計画も eYACHO で共有

eYACHOには、ネットワーク環境があれば遠隔地からでも複数人が同時に書き込んで情報を共有できる「シェア機能」が搭載されている。「シェア機能」を利用することで、事務所の所長が現場の搬入状況をリアルタイムに把握し、迅速かつ的確に指示することが可能になる。また、所長の確認をとっていない場合でも手戻りが発生することはない。重機の配置などもeYACHO上で行えば、会議のために集まる必要もなくなり、現地で現場の1日の流れをタイムリーに把握できる。電気工事など設備工事の協力会社とも、直接現場で情報を共有しながら打ち合わせをすることが可能になる。

現場と事務所などの情報連携が強化され、円滑かつ迅速な作業計画を立てることができるようになり、業務のさらなる効率化が期待できるといえる。「i-Construction」時代の工事現場のワークスタイル改革に貢献するeYACHOはますます活躍の場を広げている。



「シェア機能」を利用した情報連携イメージ

問い合わせ先
開発・販売

 MetaMoj

株式会社MetaMoj

〒106-0032 東京都港区六本木 1-7-27 全特六本木ビル六本木 EAST 4F

TEL 03-5114-2912 FAX 03-5114-2526

URL <http://product.metamoji.com/gemba/eyacho>

eyguide_201710_1 2017年10月現在